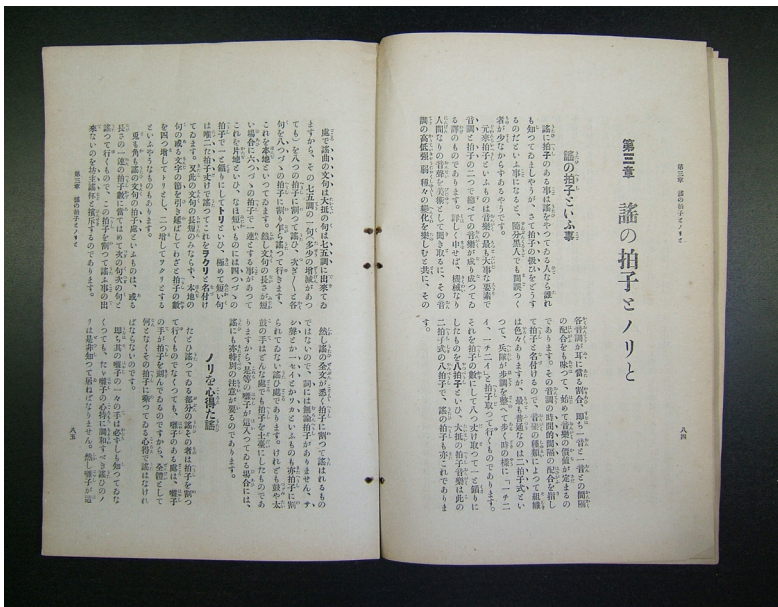


神田豊穂 『続謡ひの総心得』

全五章のうち、第三章「謡と拍子のノリと」は、曲種や部分に応じて、拍子に合うところと合わないところがあるという基本からはじめ、各部分の謡い方の違いをおおまかに説明する章である。八拍子の図を使うことなく、もっぱらノリという言葉を使って曲の部分部分の運び方の違いを示す。拍子に合う箇所だけでなく、「拍子の無い謡処のノリ合い」の記述があり、ノリと拍子合がかならずしも同義ではなかったことが伺われる。



標題 内題：—

標題紙：続謡ひの総心得

奥附：—

その他：続謡ひの総心得（目次）、続謡総心得（巻末）、続うたひの総心得（表紙）

著者 奥附：神田豊穂

その他の場所：能楽図書研究会（標題紙）

出版 版次：第一版

出版地：東京

出版社：能楽図書研究会出版部

出版年：大正3（1914）

その他の場所：—

形態 冊数：一冊 頁数：一五六頁

寸法：22×15（cm）

状態 写本版本の別：版本 現物複写の別：現物

備考